

宇都宮市立豊郷中学校 第3学年 生徒質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

- 「朝食を毎日食べていますか」の質問に対する本校の肯定割合は91.2%で、全国と同じであったが、県より1.3ポイント下回った。朝食をとる大切さを学級活動等を通して指導していく。
- 「人が困っているときは、進んで助けていますか」の質問に対する本校の肯定割合は96.9%と高く、県より4.3ポイント、全国より6.8ポイント上回った。
- 「将来の夢や目標を持っていますか」の質問に対しての本校の肯定割合は75.3%で、県より4.7ポイント、全国より9.0ポイント上回った。
- 「友人関係に満足していますか」の質問に対しての本校の肯定割合は93.8%と高く、県より2.8ポイント、全国より3.7ポイント上回った。
- 「わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていますか」の質問に対する本校の肯定割合は83.0%で、県より3.5ポイント、全国より4.4ポイント上回った。
- 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の質問に対する本校の肯定割合は87.1%で県より7.2ポイント、全国より11.0ポイント上回った。
- 「1、2年生のときに受けた授業でPC、タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の質問に対する本校の肯定割合は76.3%で、県より7.3ポイント、全国より11.5ポイント上回った。
- 「1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分がかまく伝わるよう資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」の質問に対する本校の肯定割合は76.3%で、県より7.3ポイント、全国より11.5ポイント上回った。
- 「1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか」の質問に対する肯定割合は84.5%で県より9.1ポイント、全国より15.7ポイント上回った。
- 「1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか」の質問に対する肯定割合は92.8%と高く、県より9.9ポイント、全国より10.4ポイント上回った。

宇都宮市立豊郷中学校（第3学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
<p>「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて次の目標達成を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動を通し、問題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成を図る。 ・学力向上を目指し家庭及び地域学校園と連携した「豊郷の豊かな学び」の実現を目指す。 	<p>①指導目標を明確にし、指導内容の充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導と評価の一体化のための学習評価の研究 ・授業での「学習課題」の提示及びまとめ・振り返りの工夫 <p>②主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上を目指した言語活動の充実 ・1人1台端末の効果的な活用 <p>③望ましい学習態度の育成に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習を充実させるための指導 <p>④「グローバル社会」に主体的に向き合う教育の推進に努める。</p> <p>⑤各教科・領域、家庭・地域との連携に努める。</p>	<p>②について、1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することで、自己表現の場面や、友達との協働の場面において、学習効果を感じているかどうかを答えさせる複数の質問への肯定的な回答の割合は88.6%で、県平均を3.6ポイント、全国平均を5.6ポイント上回った。</p> <p>③について、学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強するかを答えさせる質問において、1時間以上と回答した割合は79.9%で、県平均を10.6ポイント、全国平均を15.6ポイント上回った。</p> <p>④について、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問への肯定的な回答の割合は85.8%で、県平均を6.4ポイント、全国平均を9.6ポイント上回った。また、1、2年生のときに受けた授業では、英語で自分の考えや気持ちなどを伝え合う活動が行われていたかを答えさせる複数の質問への肯定的な回答の割合は91.1%で、県平均を8.6ポイント、全国平均を12.1ポイント上回った。</p> <p>⑤について、「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか」、「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」という質問への肯定的な回答の割合は89.5%で、県平均を4.5ポイント、全国平均を8.9ポイント上回った。</p>

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
<p>【国語】 思考力、判断力、表現力等を評価する問題における無回答率がやや高い。</p> <p>【数学】 筋道を立て、自分の言葉で説明する力が不十分な生徒がいる。</p> <p>【質問調査】 「新聞を読んでいますか」という質問において、「ほとんど、または、全く読まない」という回答の割合が80.9%であった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動を通し、問題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる授業等において、ペアやグループで自分の言葉で考えを伝え合う活動を取り入れる。その際に、 <ul style="list-style-type: none"> ○相手の考えと自分の考えを比較する ○自分の考えをまとめ、広げ、深める ○自分の立場を意識し、相手を想像する ○相手に伝わりやすいように工夫する ○筋道を立てて考え、伝える 力を高めることをねらい、活動を設定する。 ・あらゆる授業等において、実際の生活に即した資料を用い、その資料から物事の特徴を捉えたり、比較、検討したりして、わかったことや考えたことを話したり書いたりする活動を取り入れる。 ・国語、社会、理科、英語の時間や総合的な学習の時間を中心に、授業で新聞を活用し、資料を読み取る力や文章を要約し、自分の言葉で表現する力をつけさせる。 ・新聞を活用した家庭学習のやり方を提案する。